

五條市ベストラインシダーアリーナ合併浄化槽

維持管理業務委託仕様書

本業務は浄化槽法（昭和 58 年法律第 43 号）その他関係諸法令に基づき、五條市ベストラインシダーアリーナの合併浄化槽保守点検等を適正に行うことにより正常な状態を維持し、常に放流水質を水質管理基準及び法令に基づく排水基準等に適合させ、公共用水域の環境保全に資することを目的とする。

○浄化槽仕様

- ・対象機種 クボタ浄化槽 KM-SG-NP-2B 型(株)クボタ社製)
- ・仕様、汚水量 FRP 製合併浄化槽－350 人槽－59.0m³/日処理
- ・認定仕様
型式適合認定番号 型 01CaaOa1031442
型式認定番号 6-09K-H-005-2
- ・水質値
流入 BOD=221mg/L、SS=250mg/L
COD=100mg/L、T-N=50mg/L
T-P=5mg/L、大腸菌群数=無数
PH=5.8～8.6
放流 BOD=10mg/L、SS=10mg/L
COD=10mg/L、T-N=10mg/L
T-P=1mg/L、大腸菌群数=100 個/L
PH=5.8～8.6
- ・放流先 公共用水域
- ・処理方式 膜分離活性汚泥方式
- ・管理基準 製造業者(株)クボタ)維持管理要領書及び
本 FRP 製合併浄化槽図書を参照とする。
- ・時期及び回数 使用開始後 1 週間に 1 回以上
(製造業者(株)クボタ)維持管理要領書より)

○作業内容

1. 管理技術作業内容(1週間に1回(期間中135回)以上実施)

ばっ気型スクリーン	＝攪拌状態点検・かすの除去及び洗浄
流量調整槽	＝異物等除去・攪拌状態点検・作動状況点検
脱窒素槽	＝攪拌状態点検・DO,PH 測定・各設定確認
硝化槽	＝ばっ気状態点検・汚泥濃度,水温,DO,PH 測定 各設定確認・発砲の確認,対処
膜分離装置	＝吸引負圧の確認・透過流速,処理水量の確認 洗浄バルブによる散気管洗浄 膜面の点検及び洗浄 (膜面薬液洗浄=2回以上/年) (膜手洗い洗浄=1回以上/年)
消毒槽	＝消毒剤補充・処理水残留塩素,PH 測定,汚濁確認
放流ポンプ槽	＝作動状況点検
汚泥貯留槽	＝ばっ気状態点検・汚泥量の確認
各種薬液タンク	＝薬液補充・作動状況点検

2. 水質検査項目及び内容(1回以上/年実施)

PH、BOD、COD、SS、T-N、T-P、大腸菌群数

※但し、水質汚濁防止法の規定により、COD、T-N、T-P は
1回以上/30日の測定及び検査義務を要する。

3. 中継ポンプ点検作業内容(年2回)

スクリーン清掃
ブロワーの点検整備
ポンプの点検整備
ポンプの電流値・絶縁抵抗値の測定
中継槽の目視点検
フロートの点検

4. 消耗品内容

附属機器類(ブロワー)の必要に応じたベルト交換及び
オイル補充。
消毒槽内の消毒剤補充。
各種薬液タンク(PAC,NaOH,メタノール)の補充。

5. 点検報告書提出内容

点検実施毎の維持管理作業報告書作成し、施設管理者に提出し、維持管理業者においても報告書控え保管とする。

2. 項目※内容における COD,T-N,T-P の測定結果報告書を指定機関に提出報告とする。

6. その他の事項

附属機器類の修理及びオーバーホールの必要の場合は、見積書等提出の上、施設担当者と協議により決定とする。

液中膜及び膜装置の交換、修理、水替えの必要の場合は、見積書等提出の上、施設担当者と協議により決定とする。

故障又は緊急時には夜間、休日に拘らず対応出来る体制を有すること。

※維持管理作業内容・仕様についての詳細は製造業者(株)クボタ)発行の維持管理要領書及び別紙図面を参照とする。